

令和元年度下期募集分「芸術活動振興事業助成金」応募団体の審査結果について

令和元年8月22日にアーツカウンシル部会において厳正な審査を行った結果、下記のとおり決定しました。

<応募総数>

84件（一般助成）

<助成予定件数>

70件（一般助成）

<審査結果一覧>

	申請件数	助成予定件数
演劇	38	29
洋楽	9	7
洋舞	4	4
邦楽	4	4
邦舞	1	1
古典芸能	4	4
大衆芸能	9	8
芸術祭等	2	2
美術	10	8
映画	3	3
合計	84	70

<アーツカウンシル部会(芸術活動振興事業に関する審査員※令和元年8月22日時点)>

中西 美穂	アーツカウンシル部会長 フリーアートアドミニストレーター
古後 奈緒子	大阪大学文学研究科 准教授
権田 康行	演劇プロデューサー
広瀬 依子	追手門学院大学国際教養学部国際日本学科 講師
志村 聖子	相愛大学音楽学部 准教授
小暮 宣雄	京都橘大学現代ビジネス学部都市環境デザイン学科 教授
山中 俊広	インディペンデントキュレーター
吉田 隆之	大阪市立大学都市経営研究科 准教授

令和元年度 大阪市芸術活動振興事業助成金 交付決定一覧【一般助成下期募集分】

分野	No.	申請団体名	分野	No.	申請団体名
演劇	1	株式会社 関西芸術座	洋楽	36	ベルリントリオ
演劇	2	劇団五期会	洋舞	37	paixconton
演劇	3	光の領地	洋舞	38	N-Trance Fish
演劇	4	MousePiece-ree	洋舞	39	BRICS Artist Bank Project
演劇	5	創作新舞 千楽会	洋舞	40	お・ど・ら・ぼ
演劇	6	正直者の会	邦楽	41	石堂 翠子
演劇	7	玉造小劇店	邦楽	42	岡田 拓山
演劇	8	下鴨車窓	邦楽	43	石川 利光
演劇	9	Plant M	邦楽	44	公益社団法人当道音楽会
演劇	10	宮川 サキ	邦舞	45	煤茂都 華絹
演劇	11	芝居屋さんプロデュース	古典芸能	46	女義太夫の会
演劇	12	清流劇場	古典芸能	47	すみよし反橋能実行委員会
演劇	13	Z system	古典芸能	48	一般社団法人関西伝統芸能女流振興会
演劇	14	彗星マジック	古典芸能	49	上方文化講座実行委員会
演劇	15	株式会社 INDEPENDENT	大衆芸能	50	一般財団法人大阪市コミュニティ協会 東成区支部協議会
演劇	16	劇団いちびり一家	大衆芸能	51	月亭 文都
演劇	17	劇団しし座	大衆芸能	52	桂 まん我
演劇	18	ばぶれるりぐる	大衆芸能	53	京山 幸太
演劇	19	匿名劇壇	大衆芸能	54	旭堂 南龍
演劇	20	口字ック	大衆芸能	55	桂 文之助
演劇	21	三俣婦人会	大衆芸能	56	大森 くみこ
演劇	22	TheStoneAgeヘンドリックス	大衆芸能	57	さかいひろこworks
演劇	23	あみゆーず・とらいあんぐる	芸術祭	58	ユネスコNGO国際民間文化芸術交流協会
演劇	24	劇団そとばこまち	芸術祭	59	Far East Audio Visual Socialization(FEAVS)
演劇	25	DOOR	美術	60	パケクシオン
演劇	26	工藤俊作プロデュース プロジェクトKUTO-10	美術	61	一般社団法人日本現代美術振興協会
演劇	27	N2	美術	62	おおしまたくろう
演劇	28	無名劇団	美術	63	特定非営利活動法人キャズ
演劇	29	今からひっくり返す	美術	64	音楽と演劇の年賀状展
洋楽	30	日本古楽アカデミー	美術	65	大船真言展「中空」実行委員会
洋楽	31	男声カルテット「ワイルド・ローバーズ」	美術	66	長坂 有希
洋楽	32	廣澤 敦子	美術	67	ALTEMY
洋楽	33	特定非営利活動法人フィルハーモニック・ウインズ大阪	映画	68	おおさかシネマフェスティバル実行委員会
洋楽	34	せんば鎮守の杜芸術祭実行委員会	映画	69	ラテンビート映画祭実行委員会
洋楽	35	特定非営利活動法人関西ジャズ協会	映画	70	精華千日前キネマ映画祭実行委員会

交付決定件数(一般助成)	70件
交付決定額計	9,895,000円

## 令和元年度 大阪市芸術活動振興事業助成金（一般・下期）について

平成 31（2019）年度の「一般助成・下期」に 84 件の申請をいただき、70 件の交付を決定いたしました。そのうち 40 件が満額交付を予定しています。

採択率は 83%（小数点以下切り捨て。以下同様）です。これは今年度の「一般助成・上期」の申請数 64 件うち採択数 54 件の採択率 84%、そして前年度「一般助成・下期」の申請数 90 件で採択数は 79 件の 87%よりも低くなりました。

今回の新規応募件数は 29 件、前年度の上期 13 件、同下期 17 件、今年度上期 24 件と、毎回増加しています。新規応募件数が増えたことに、大阪のシーンの動きを感じ、喜ばしく思います。

分野として応募が増えているのは「美術」です。前年度は年間 12 件の応募がありましたが、今年度は結果的に年間 19 件の応募となりました。

採択不採択に関わらず、どの申請事業も意欲溢れるものに違いありません。審査に当たっては、どう大阪市民につなげようとしているのか、あるいは芸術性をどう高めようとしているのか、そういった事業目的を、十分に言語化しているかどうかを重点的に見ました。また、企画の中心者となる者の魅力が十分に活かされている内容かどうか、重要な判断材料としています。

一つ一つの審査を行いながら、大阪には多様な芸術文化活動があると、改めて気づかされるとともに、こういった多様な活動が交差するコラボレーション企画や、複数の活動が面として見えてくるプラットフォーム的な事業申請が年間を通して少ないことを残念に思っています。企画として簡単ではないでしょうが、今後増えて欲しいです。

ひきつづき、分野に関わらず新しい動きを歓迎します。

みなさまの大阪での芸術文化活動を心より応援しています。

大阪アーツカウンシル統括責任者  
中西美穂